

国際森林年企画

白神山地を考える旬間 シンポジウムと 森を歩く集い

～変化する自然を探る～



2011・国際森林年

主 催：林野庁東北森林管理局

後 援：東北地方環境事務所、青森県、秋田県、西目屋村
鱒ヶ沢町、深浦町、能代市、藤里町、八峰町

白神山地は、平成5年にブナ林を中心としたすぐれた自然環境が評価され、世界遺産として登録されました。今後とも、遺産価値を保全していくためには、その自然を適切に守り続けることが重要ですが、その自然は、季節や年月を経ることで絶えず変化しています。

このため、本年度から、東北森林管理局をはじめとした関係機関は、自然の変化をモニタリングし、有識者等の意見を聞き、これらの結果を踏まえて管理の仕方を見直していくための仕組み、いわゆる「順応的保全管理」を導入することとしています。

本シンポジウムでは、変化する白神山地の自然を探ることをテーマに、気候（気候変動）、植物（森林生態系）、動物（鳥類、猛禽類）に焦点を当てて、①自然遺産としての価値（自然の姿）や、②順応的保全管理手法についての知見を共有するとともに、③順応的保全管理において、どのように自然の姿をとらえ、これを守っていくかをわかりやすく解説していきます。

また、今年は、国際森林年にあたる年であり、「森を歩く」が国内テーマです。参加された方々とともに白神山地を歩いて、その自然を実感していきたいと考えています。

☆シンポジウム <9月10日(土)>

弘前市総合学習センター(事前申込み不要、参加費無料)

「地球環境と森林」 早稲田大学 教授 森川 靖 氏

「ブナ林の変化をさぐる」 東北大学 教授 中静 透 氏

「白神山地に棲む鳥類の動向」岩手県立大学名誉教授 由井 正敏 氏

☆森を歩く集い<9月11日(日)>

白神山地(西目屋村、藤里町) (要事前申込:有料)

ご講演をいただいた先生、伝統と文化を継承してきたマタギの方や白神山地のブナ林を守る活動を行っている方とともに、青森と秋田の白神山地を歩きます。(裏面参照)

☆ お申込み方法

森を歩く集いに参加をご希望される方は、裏面の申込票の各事項をもれなくご記入の上、郵送、FAX又はE-mailでお申し込みください。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。ただし、シンポジウムのみ参加の場合は申し込み不要です。

☆ お申込み期限

平成23年8月31日(水)必着

☆ 「森を歩く集い」お申し込み先

〒038-8501

青森県青森市柳川2丁目1-1

東北森林管理局 青森事務所 自然遺産保全調整官 片倉啓一郎 宛

TEL:050-3160-6831 FAX:017-781-6948 e-mail:keiichirou_katakura@rinya.maff.go.jp



☆ スケジュール

第一日目 平成23年9月10日(土) シンポジウム(弘前市総合学習センター)

13:00～ 開演 (受付開始 12:30～)
 挨拶 東北森林管理局長 矢部三雄
 趣旨説明 東北森林管理局 計画部長 合田和弘
 13:15～14:05 講演①「地球環境と森林」 早稲田大学教授 森川 靖氏
 14:05～14:15 休憩
 14:15～15:05 講演②「ブナ林の変化をさぐる」 東北大学教授 中静 透氏
 15:05～15:55 講演③「白神山地に棲む鳥類の動向」 岩手県立大学 名誉教授 由井正敏氏
 15:55～16:00 終演

第二日目 平成23年9月11日(日) 森を歩く集い(西目屋村、藤里町)

8:30～17:00 弘前駅前を発着する3コース(各コース20名程度)
 暗門コース①(暗門の滝、ブナ林)
 暗門コース②(高倉森、マザーツリー)
 岳岱コース(岳岱教育林、田苗代湿原、釣瓶落峠)
※集合場所:弘前駅城東口 8:30集合

☆日時

平成23年9月10日(土)～11日(日)

☆会場

10日 弘前市総合学習センター
 (弘前市大字末広4丁目10-1)
 11日 白神山地(西目屋村、藤里町)

☆参加料

シンポジウム:無料
 森を歩く集い:500円
 (保険代等含む)



さりとて

森を歩く集い申込票 (片倉 宛)

FAX:017-781-6948
 平成23年8月31日(水)必着

氏名	住所	電話連絡先
ふりがな	〒	Tel
生年月日 昭和 平成 年 月 日生 年齢 歳		シンポジウム参加予定 有り 無し
ご希望のコースをご記入ください。 ・暗門コース① ・暗門コース② ・岳岱コース		
「白神山地を考える旬間シンポジウム」講演のうち関心のあるテーマやことごとらについて、ご記入ください。		

※上記情報は、白神山地を考える旬間シンポジウム、森を歩く集いに関する以外には使用しません。